

薬明生物技術(02269)

【セクター】 バイオテクノロジー

【市場】 香港

【企業概要】

中国最大のバイオ医薬品の受託開発製造会社。2017年に香港市場に上場しました。主にバイオ医薬品の臨床前開発や臨床試験サービス、商業生産などを手掛けます。中国および世界の製薬会社が主要顧客です。業界誌のライフサイエンス・リーダーによるCMO（医薬品の製造受託機関）リーダーシップ賞を受賞するなど、品質や専門性は世界で認められています。地域別売上高構成比（22.12期）は北米が55.6%、中国が24.4%、欧州が16.7%、その他が3.3%です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

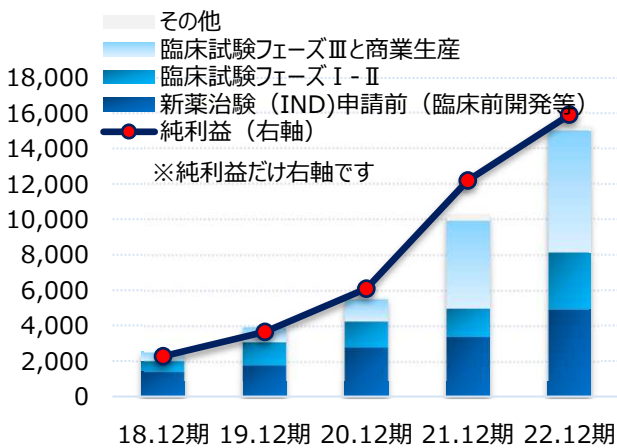
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	10,290	3,316	0.75	0.00	7.6	12.8	74.3
22.12期	15,269	4,925	1.13	0.00	8.3	13.1	73.1
23.12期（予）	18,791	5,105	1.17	0.00	9.6	12.5	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

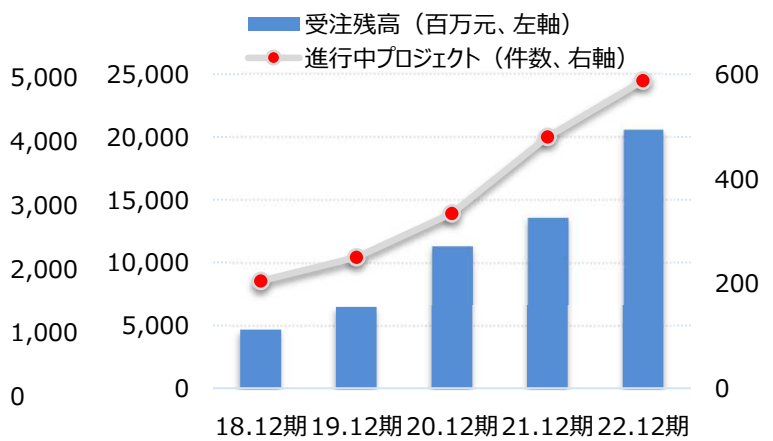
【主要指標】

部門別売上高と純利益の推移（百万円）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

各期末の受注残高と進行中プロジェクトの推移



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【見通し・注目点】

会社側が12月4日に業績見通しを公表。新規プロジェクトは業界の資金調達が減速しているため、今年は昨年より40件減少し、医薬品開発部門の売上高は新規プロジェクトの減少で従来予想より18%-20%減少し、製造部門の売上高は大手製薬会社による新薬の延期で従来予想より15%-18%減少する見通しだと示しました。業界状況の急速な悪化が背景ですが、上期の業績が会社予想を上振れただけに、下方修正はネガティブ・サプライズです。12月4日には株価が24%下落し、株価の異常な変動を受けてか、12月4日の取引時間帯に会社側の要請により売買停止となりました。

12月4日の夜、会社側は下記の上場開示とともに、12月5日から売買を再開すると発表しました。「当社グループの事業運営および財務状況に重大な不利な変化は生じていないことを強調したいと思います。しかしながら、バイオ産業の資金調達の減速により、バイオ産業の年間成長率が1桁台になり、COVID-19関連プロジェクトの減少と一部のメガプロジェクトの遅延により、2023年の売上高成長率は予想を下回る見通しです。ただし、当社は将来に対して前向きな見通しを維持します。2023年は10%前後の増収率の達成を引き続き、目指しています。2024年と2025年に高い売上成長率を維持するために、投資を継続し、生産能力を拡大していく予定です。」短期的に業績は下振れるものの、中長期的な見通しは堅調と示唆されました。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。